

I. 研修について

アトピー性皮膚炎等の湿疹、皮膚炎を始め、蕁麻疹、薬疹・中毒疹、尋常性乾癬等の角化異常症、各種皮膚腫瘍、膠原病、血管炎、水疱症、外傷・慢性創傷、带状疱疹等のウイルス感染症、蜂窩織炎等の細菌感染症、足白癬等の真菌感染症等々幅広く皮膚疾患に対応している。当院皮膚科の特徴としてはGVHD などの血液疾患に関連したものや、分子標的薬による皮膚障害、慢性創傷の患者さんが比較的多いと思われる。午前中は一般外来、午後は他科入院患者さんの外来診療のほか、外来中術、凍結療法、創傷処置などの特殊再来や手術室手術、皮膚科入院患者さんの診察、処置をしている。外来診療は基本的に見学となるが、下記研修目標にあるように真菌検査や皮膚生検など簡単な検査・処置等は自分でできるよう指導を行う。

II. 研修の到達目標

日常診療における皮膚科疾患に対して、適切な判断や処置ができる臨床医として必要な皮膚科関連領域の基本的知識、技術を修得する。

1. 皮膚病変の適切な形態学的観察とその記載法を修得する
2. 皮膚科学的検査法を修得する
3. 局所膏薬療法について最低限の知識と技術を修得する
4. 皮膚科の基本的外科技術および理学療法を修得する

III. 医師数[うち臨床研修指導医講習修了者数] (平成 29 年 3 月現在)

・常勤医師 3 名 [1 名]

IV. 学会認定医・専門医・指導医 (平成 29 年 3 月現在)

日本皮膚科学会認定皮膚科専門医(1 名)

V. 施設認定

日本皮膚科学会認定専門医研修施設